

2022 年度 自己点検・評価報告書

法学研究科評価分科会

2023 年 2 月

基準4 教育課程・学習成果

2023年度カリキュラム改訂を予定している学部・研究科については、下記の内容について記入ください。

- ・ 授与する学位ごとに、学位授与方針を適切に定めているか。
- ・ 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を適切に定めているか。
- ・ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

2023年度にカリキュラム改訂を行わない場合は、下記の内容について記入ください。

- ・ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【1】2021年度の自己点検・評価で課題となった事項

法科大学院制度が開始して以来、法学研究科に入学し研究者を目指す学生が減少しており、この傾向は依然継続しているので、時代に即した教育課程・カリキュラム設置することが必要である。

【2】2022年度の方針・改善計画（および中期的な改善計画）

<方針・改善計画>

2023年度実施予定の新カリキュラムについては、諸般の事情から現行カリキュラムを微調整するにとどまったので、次回のカリキュラム改正では、オンライン授業およびリカレント教育を法学研究科において展開するために、2022年度から検討を始めたい。

<最終報告までの達成目標>

オンライン授業およびリカレント教育を具体的に実施するために、他大学研究科の実例を調査する。

【3】2022年度の取り組みの点検・評価と2023年度以降の方針

【2022年度の取り組みの点検】

他大学院の事例を調査し、本研究科においてオンライン授業およびリカレント教育を実施する上で課題となる事項を明確にする。

【今後の課題および2023年度以降の方針】

オンライン授業およびリカレント教育の実施に係る人的資源等の確保について検討を始める。

基準5 学生の受け入れ

- ・ 学生の受入のための広報活動、および学生の受け入れの適切性について、点検・評価を行っているか。
- ・ 受入れ制度ごとに学生の学習状況を把握し、点検を行っているか。

1. 学生の受入のための広報活動、学生の受け入れの適切性について

【1】2022年度の方針・改善計画・取り組み等（および中期的な改善計画）

<方針・改善計画>

2020年度における方針では「博士前期課程（修士課程）の入学受入れに関しては（一定の）努力

は行っているものの入学定員を常に満たしているとはいえない状況」としたことから、「今後も広報活動など何らかの積極的対策を考える必要がある」とした。

<最終報告までの達成目標>

学生の受入れのための広報活動を積極的に実施し、収容定員を充足することを達成目標とし努力する。

【2】2022年度の取組みの点検・評価と2023年度以降の方針

【2022年度取組みの点検】

収容定員充足率を満たすために評価分科会を開催し、研究科長より目標に対する施策としての提案が示され、検討会を開催した。その中で新しい試みも検討している。

また、高度な専門的職業人を育成することも本研究科の目的としているために、法学部のみならず他の学部生の受け入れを積極的に実施し多様性を図っている。

【今後の課題および2023年度以降の方針】

法学研究科の教育と研究の在り方を再検討し、学生の受け入れ体制について広く弾力的に体制を整えていく方針である。

学生の意見聴取

- ・ 履修、授業、DP に関すること
- ・ 昨年度の学生からの意見聴取を受けて取り組んだ事項について
- ・ 学生生活アンケートから見える本学の傾向性について

【1】2021年度の意見聴取をもとに実施した検討や取組みの内容

2020年より（コロナの影響により）開始されたオンライン授業や相談会などを積極的に活用することが望まれている。特に研究過程における論文作成のための報告会やその他の検討会などに有効と思われる。

2021年度に開催された院生懇談会において、法学研究科の学生も法科大学院の図書室を使用できるようにしてほしいとの要望があり、この点についてはすでに関係部署との協議を経て実現した。

【2】2022年度の意見聴取を踏まえた2023年度以降の方針・改善計画（および中期的な改善計画）

1. 外国人の受け入れとグローバル化の推進
2. 社会人の受け入れと職業的専門性に対する施策
3. オンライン授業の活用

なお、2022年春学期実施の院生懇談会においてコア科目の科目数を増やしてほしいとの要望が出たが、

これについては、次回カリキュラム改正の際に検討する予定である。